

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ファッションビジネス I Fashion Business I		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(なし)	なし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
ファッションフィールド関連科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ファッションフィールド関連科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
笹崎綾野	授業中に指示します	授業中に指示します		授業中に指示します
<b>授業の概要</b>				
ファッションビジネスとは、その時々生活者の要求を汲み取り、快適な生活を創造する為の商品やサービスを提供し、利益を得るというファッションを通じて生活を提案するビジネスである。本科目では、モノの創造、生産から販売までを学び、ファッションビジネスの基礎を理解することを目的とする。				
<b>授業の目標</b>				
①素材、商品企画、製造、販売までのファッションビジネスの全体像を理解できるようにする。②小売り産業の形態について知り、市場調査を通して確認できるようにする。③MD、VMDなどの専門用語とその内容について知識を深められるようにする。				
<b>授業の方法</b>				
講義形式。教科書を主とし、市場調査を加えながら授業を進める。				
<b>学習の成果（学習成果）</b>				
①ファッションビジネスの柱である「創」「工」「商」について理解を深めることができる。 ②ファッションビジネスの現状を把握し、その今後について考えることができる。				
<b>授業のスケジュールと内容</b>				
第1回目	オリエンテーション、ファッションビジネス関連基礎①：ファッション文化、コーディネート			
第2回目	ファッションビジネス関連基礎②：商品知識、デザイン、パターンメイキング			
第3回目	ファッションビジネスとその変遷			
第4回目	生活と消費			
第5回目	ファッション産業①：繊維産業、アパレル産業			
第6回目	ファッション産業②：小売産業			

第7回目	ファッションマーケティングとブランド商品企画	
第8回目	ファッションマーチャンドライジング(MD、VMD等)	
第9回目	プロモーション(販売促進、広告)	
第10回目	販売と管理	
第11回目	ファッションビジネスの職種と業務	
第12回目	テスト	
第13回目	グループワーク①	
第14回目	グループワーク②、発表準備	
第15回目	調査発表、講評・まとめ、テスト解説	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	10%	遅刻、欠席がなく、積極的に授業に参加している。
レポート	20%	授業内容に沿い、適切にまとまっている。期限内に提出されている。
調査報告書	10%	自ら調査されている。内容が詳しく分析され、記されている。
小テスト		
試験	50%	授業内容が理解できている。
発表内容(態度含む)	10%	内容が適切に発表できている。
その他		
教科書と参考図書		
教科書：文化服装学院編 『文化ファッション大系 アパレル生産講座2 ファッションビジネス 応用編』 文化出版局 参考書：日本ファッション教育振興協会編 『ファッションビジネス[1] ファッションビジネス能力検定試験3級準拠』 日本ファッション教育振興協会		
履修上の留意点・ルール		
2/3以上の出席がないと受講資格を失う。遅刻、忘れ物、飲食、私語、携帯電話の使用等を禁ずる。		